

3 2 & 3 3. 高木 美奈氏、佐々木 遥香氏 (株式会社チャムズ (子育て応援サイト kids cham))

「子育て中の女性の挑戦や活躍を後押しする『ママが輝けるまち』であってほしい。」



高木 美奈 (たかき みな)

北九州市出身。

これまで、ブライダルヘアメイクやエステティシャン、メイクアップアーティストとして従事。

佐々木 遥香 (ささき はるか)

北九州市出身。

保育免許所有。これまで貿易業やイベント企画運営会社にて従事。

「子育てしやすい環境を引き継いで」

北九州市は、福岡市ほどの大都市ではありませんが、家族単位でも行きやすいローカルな市場・商店街やリーズナブルな飲食店等が充実しているなど、生活しやすいまちだと言えます。

また、程よい都会である一方で、自然が多く、低料金で子どもと遊べる施設も充実しています。家族連れでは車利用が多くなりますが、駐車場料金も適正で、渋滞しないなど道路環境がよく、ストレス無く移動することができるのも大きな魅力ではないでしょうか。

さらに、この生活環境の中で、市場に子連れで出かけると、気軽に声をかけていただくなど、地域みんなで子どもを育てる温かな市民気質が多分にあると感じます。安心して子育てできる、子育てしやすい環境が整っているといえるでしょう。

このような良さは、ぜひ残し、引き継いでほしいと考えています。

「ママがキャリアを作っていける環境を」

北九州市には、実は高学歴を有するなど、潜在力の高い女性が多く住んでいます。しかし、家庭に入ったママが再就職する際に、勤務形態が障壁になり、「働きたい」よりも「働ける」職種を選ぶ傾向にあります。また、男性はキャ

リア形成のために転職できるのに、女性はそのような観点で転職できない状況にもあります。これでは「稼げるまち」にはつながらないのではないのでしょうか。

そのような状況を変えるために、企業側にはママを受け入れる体制を作っていただくとともに、ママ側もスキル磨くとともに、覚悟を持つ必要があるでしょう。現在、当社では、ママと企業をマッチングするイベント「ママドラフト会議」を運営しています。今後、双方の意見を橋渡しする活動を北九州市と一緒に広げていきたいと考えています。

併せて、子どもを安心して預けることができるように保育園の充実やパパの理解醸成等の施策が進むことを期待しています。

「地域で子どもを育てる体制の更なる充実を」

例えば、名古屋市では子育て家庭に、子育て家庭優待カードが渡されて、様々な企業や店でサービスを受けることができ、地域で子どもを育てようという体制が整っています。

北九州市でも、母子手帳を見せればサービスが受けられるような仕組みは既にありますが、手帳自体が重く、持ち歩かない場合も多いのが実情です。デジタル媒体でサービスが受けられるような仕組みが民間企業との連携を含め検

討・実現できれば良いですね。

また、北九州市の子育て関係の情報発信力は弱いと感じています。せっかく良い情報・内容であるのに、伝わらないことは非常にもったいない。加えて、子育てに関する情報（習い事、遊び場所等）が各事業者の個別発信になっており面的に探すことができません。

そのため、地域の子育て情報を集約し、子育て世代が各サービス等を比較検討できるポータルサイトの運営を行っています。これが事業を始めたきっかけでもあります。

引き続き、市とも連携しながら、さらに地域の子育て情報を集約するとともに、利用者を増やしながら、子育て世代を後押ししていきたいと考えています。

「子育てしやすいまち・ママが輝けるまちへ」

これは、当社としても目指すべき将来像として掲げているものです。

「子育てに関連するほしい情報がまとまった便利なサイトがほしい」と、高校の同級生で意気投合し、サイト開設したのがきっかけの当社自身、これまで、スタートアップとして北九州市のバックアップを受けながら、事業をここまで成長させることができたと感じています。

このように、ママの挑戦や活躍を後押しするまちであってほしいと願っています。